



社会的養育における ライフストーリーワーク

立命館大学

衣笠総合研究機構

徳永 祥子



1. ライフストーリーワークの紹介
2. ライフストーリーワークの進め方
3. ライフストーリーワークの実践

ライフストーリーワークの紹介

ライフストーリーワークの進め方

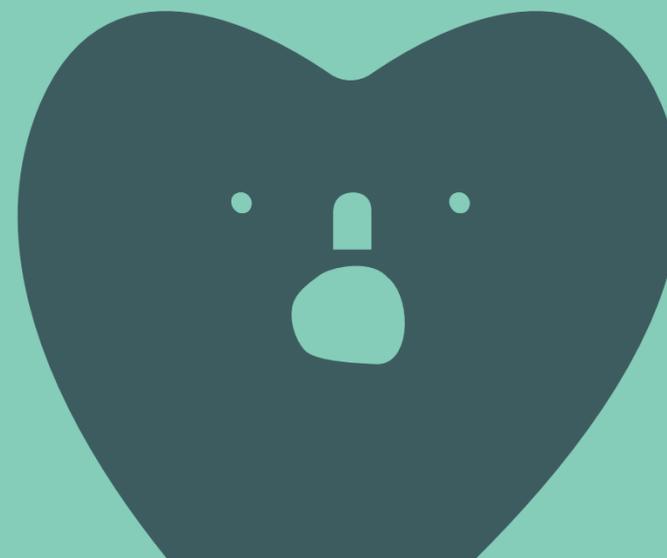
ライフストーリーワークの実践

どこから高校に通うか分からない

次の面会交流がいつか知らない

こんなお子さんはいませんか

引き取りがあるか無いか悩んでいる



親の生存状況が把握できていない



ライフストーリーワークの取り組み

ライフストーリーワークの紹介

ライフストーリーワークの進め方

ライフストーリーワークの実践

子どもが自分の人生を「主体的に」生きていく素地を作ります



ライフストーリーワークの取り組み

ライフストーリーワークの紹介

ライフストーリーワークの進め方

ライフストーリーワークの実践

自分の人生を「主体的に」生きていく素地作り

➡ 過去と現在について「知る権利」の保障

➡ 子どもと未来を考えること

➡ 子どもの気持ちに目を向ける 耳を傾ける

ライフストーリーワークとは？

ライフストーリーワークの紹介

ライフストーリーワークの進め方

ライフストーリーワークの実践

過去

これまでの自分を知ること

現在

現在の状況を理解すること

未来

将来を考えること

ライフストーリーワークとは？

ライフストーリーワークの紹介
ライフストーリーワークの進め方
ライフストーリーワークの実践

これまでの自分を知らること

わたしは、ぼくは、どこから来たの？

わたしって、ぼくって、どんな赤ちゃんだったの？

誰が、どこで、どんなふうに育ててくれたの？



ライフストーリーワークとは？

ライフストーリーワークの紹介

ライフストーリーワークの進め方

ライフストーリーワークの実践

現在の状況を理解すること

なぜ、ここ（施設や里親さんのおうち）にいるの？



ライフストーリーワークとは？

ライフストーリーワークの紹介

ライフストーリーワークの進め方

ライフストーリーワークの実践

将来を考えること

これからどうなるの？



社会的養育における

ライフストーリーワークの図

- ライフストーリーワークの紹介
- ライフストーリーワークの進め方
- ライフストーリーワークの実践

セラピューティック
トラウマからの解放

セッション型
日常場面以外での取り組み

情報収集・保管/
日常生活での語りかけや応答



社会的養育における ライフストーリーワーク

ライフストーリーワークの紹介
ライフストーリーワークの進め方
ライフストーリーワークの実践

ニーズのある子どもとの取り組み

- セッション型
- セラピューティック型
- 児童相談所にニーズを伝える
- 児童相談所との連携/役割分担
- ライフストーリーワーク前後のフォロー

セラピューティック
トラウマからの解放

セッション型
日常場面以外での取り組み

すべての子どもとの取り組み

- 日常場面型
- ウェルカムシートの準備
- アルバム作り
- メモリーボックス
- 日々の子どもとの会話・応答
- ニーズをキャッチする

情報収集・保管/
日常生活での語りかけや応答

ライフストーリーワークの段階

ライフストーリーワークの紹介

ライフストーリーワークの進め方

ライフストーリーワークの実践

STEP

1

子どもと家族にまつわる基礎情報の提供

STEP

2

情報をより深く知る・理解する

STEP

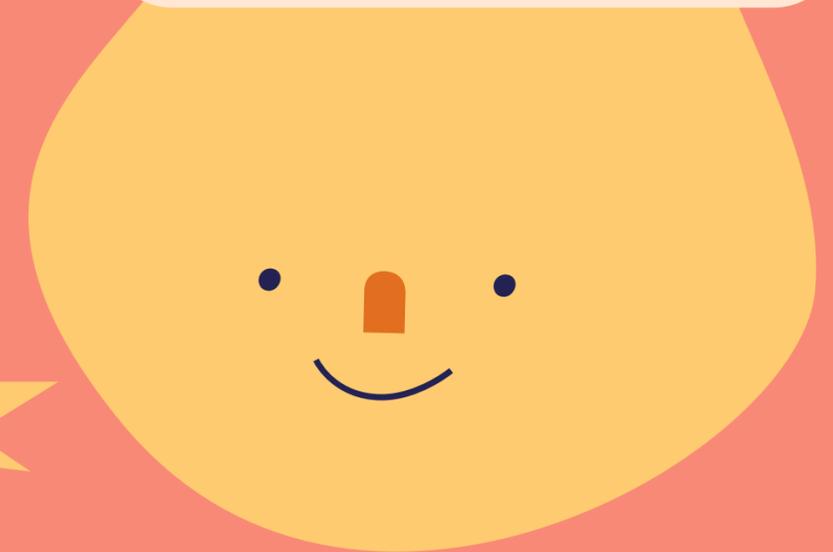
3

過去が現在の自分に及ぼす影響を考える

STEP

4

過去と現在を踏まえて、自分の「未来」を考える



ライフストーリーワークの段階

ライフストーリーワークの紹介

ライフストーリーワークの進め方

ライフストーリーワークの実践

STEP
1

子どもと家族にまつわる基礎情報の提供

一般家庭の子どもと同程度の情報の

知る権利を保障する

- 実親の名前（兄弟や祖父母の名前）
- 出生地、出生病院
- 出生状況、出生体重、名前の由来
- 実親の職業、国籍
- 実親の元で暮らしていない理由 措置理由
… 幼少期のエピソードや生育歴（移動の歴史）

ライフストーリーワークの段階

ライフストーリーワークの紹介

ライフストーリーワークの進め方

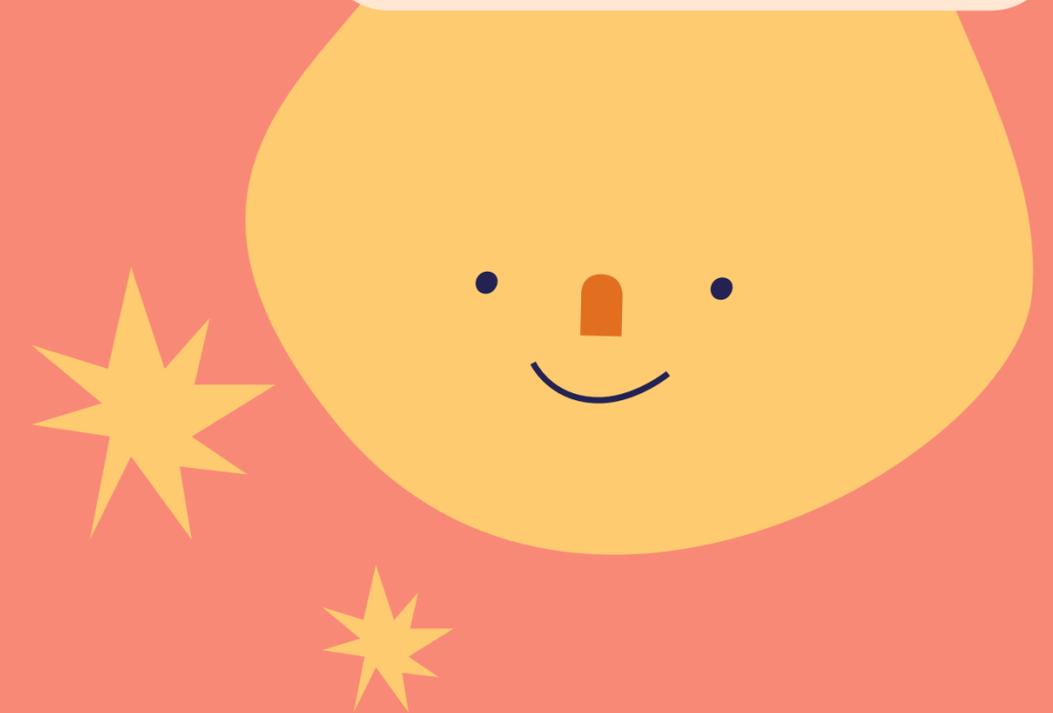
ライフストーリーワークの実践

STEP
2

情報をより深く知る・理解する

欠如している情報の追加調査

ゆかりのある場所、人の訪問

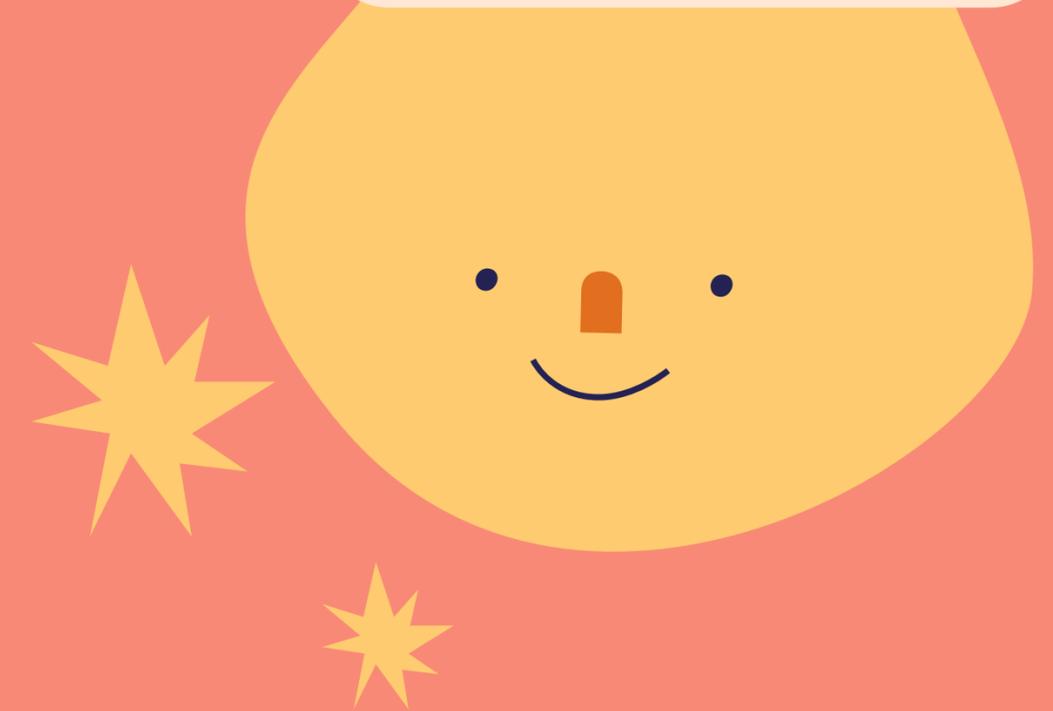


ライフストーリーワークの段階

- ライフストーリーワークの紹介
- ライフストーリーワークの進め方
- ライフストーリーワークの実践

STEP
3

過去が現在の自分に及ぼす影響を考える



ライフストーリーワークの段階

ライフストーリーワークの紹介

ライフストーリーワークの進め方

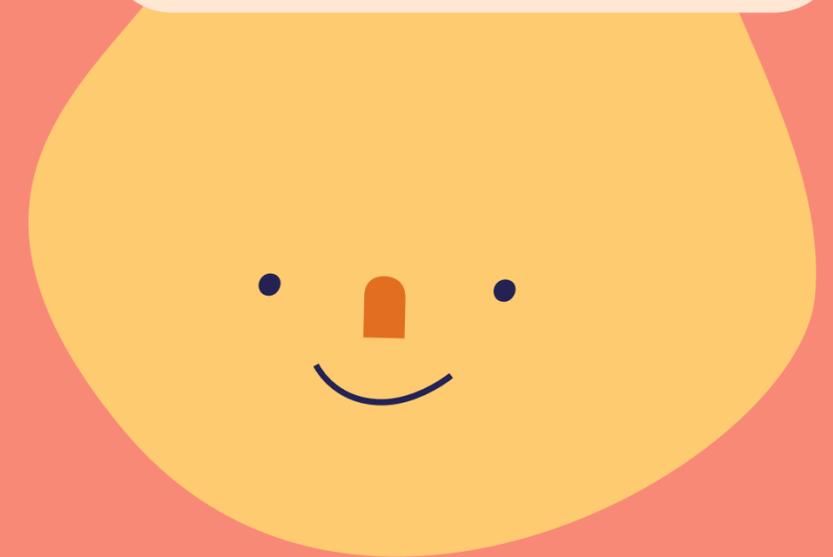
ライフストーリーワークの実践

STEP
4

過去と現在を踏まえて、自分の「未来」を考える

生い立ちの整理を超えて

- 自分自身と折り合う方法を模索する
- 進路選択（就職・進学・居住地）
- 親・家族との関係性（距離感）
- 困ったときに頼れる人を自覚し
シュミレーションする



ライフストーリーワークの実践

ライフストーリーワークの紹介

ライフストーリーワークの進め方

ライフストーリーワークの実践

アルバム作りを提案

実際に取り組んだこと

- 日常の中で子どもの発するニーズをキャッチする
- 子どもの知らないこと、知りたいこと、納得していないこと、つまづいていることを明らかにする
- 成育歴上の情報で分からない点は「児童相談所に聞いてみよう」と持ちかけ、子どもと一緒に児童相談所を訪れ質問する
- 生まれた状況について実母から話を聞くセッションを設ける

ゆかりのある場所や
人を訪問する

ライフストーリーワークの実践

ライフストーリーワークの紹介

ライフストーリーワークの進め方

ライフストーリーワークの実践

ワークの感想 子ども

- 自分が小さい頃の写真を初めて見て、可愛かった
- 乳児院に入所したのは家族の複雑な状況があったことはわかった。捨てられたのではなかったのかもしれない
- 親にはやっぱり頼れないと諦めがついた
- 実父と14年ぶりに再会して自分とそっくりだった。特技も似ていて進路選択が間違っていないと確信を持てた

ライフストーリーワークの実践

ライフストーリーワークの紹介

ライフストーリーワークの進め方

ライフストーリーワークの実践

ワークの感想 支援者

- 過酷な環境を生き抜いてきたと改めて認識した



子どもに対する敬意が生まれた

- 七五三などの写真を見て、幼少期は案外ふつうの暮らしをしてきた家族だと気づいた



家族（親）の歴史を知る

ライフストーリーワークの紹介

ライフストーリーワークの進め方

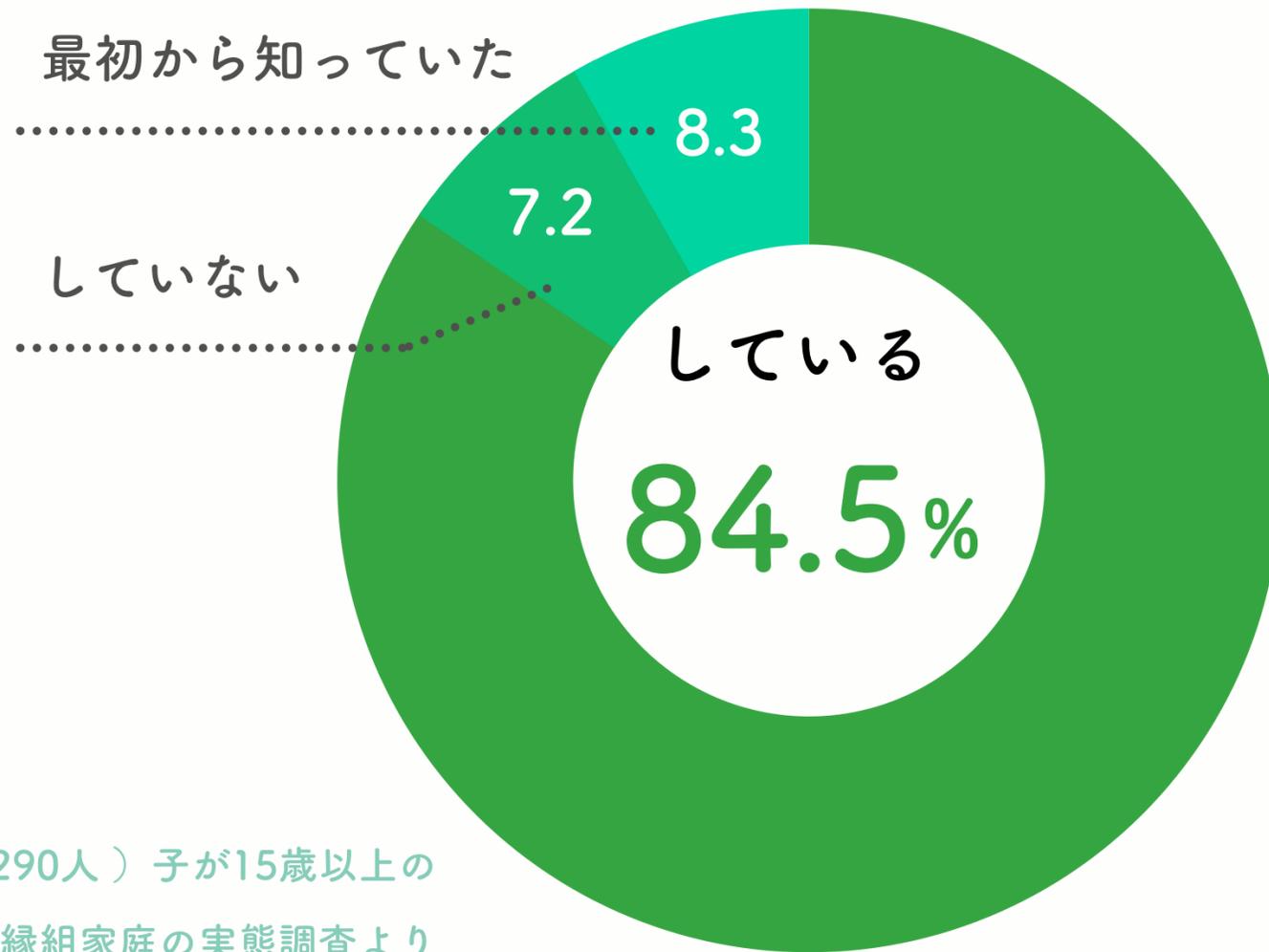
ライフストーリーワークの実践

調査からわかること

告知を受けてよかった人が8割以上

- ライフストーリーワークの紹介
- ライフストーリーワークの進め方
- ライフストーリーワークの実践

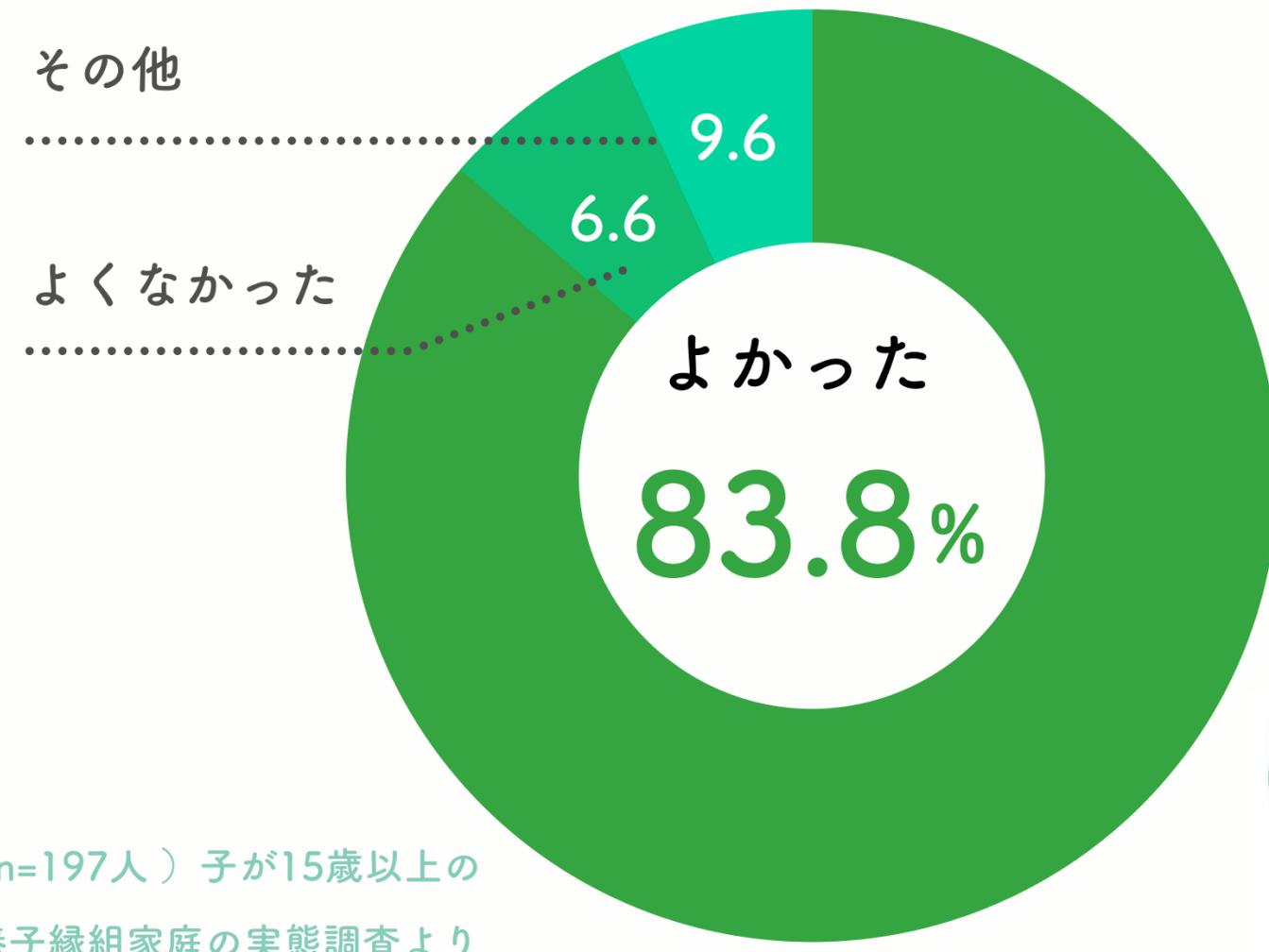
真実告知



(n=290人) 子が15歳以上の
養子縁組家庭の実態調査より

ほとんどの人が、自分が養子であることは知っている
でも真実告知に納得はしていないお子さんもいました

父母が育ての親であることを知った



(n=197人) 子が15歳以上の
養子縁組家庭の実態調査より

真実告知をした方がいいのか、方法についての考え方は、変化しており
今後は真実告知の研修やサポートの充実が望まれます

ご静聴ありがとうございました

ご意見・お問い合わせ

shokotokunaga@hotmail.com

徳永祥子

